



ひ・び・き

令和元年 10 月 21 日

3本柱で鍛える！



平成28年4月に本校に着任してから、3年半が経過しました。この間、ずっと職員に言い続けている（お願いしている）ことが3つあります。それを紹介します。

1つ目…「聴く」こと

「きく」という漢字には、聞く、聴く、訊くなど、いくつかありますが、私は「聞く」ではなく、あえて「聴く」にこだわっています。それは、漢字のとおり、耳と目と心できくということです。



学習のスタート、学びの第一歩は、聴くことから始まると考えています。話を聴かないと何をしてもよいかわかりません。その第一歩なしに、学び合うことなどできるはずがありません。

人の話を最初から最後まで、話している人の方を見て、耳をすまして、心を寄せて聴く。そうすると、話している人も、ちゃんと自分の話を聴いてくれたと嬉しい気持ちになります。聴くことはその人を大切にすることにつながる。そう信じています。

2つ目…「対話」すること

学習で一番大切なことは、考えること。つまり、「思考」です。考える上で、参考になるのは、他の人たちの考えです。自分の考えと同じなのか、似ているのか、ちょっと違うのか、まったく違うのか。自分の考えと異なる多様な、異質なものと出会い、「どうしてそうなの？」と話し合う活動を通して、考える力はぐんぐんと伸びていきます。



授業の中で、どれだけ、クラスのみなどと話し合うことができるか、そんな「対話」の時間を大切にしていきたいと考えています。

3つ目…「姿勢」(グー・ピタ・ピン)

- ◆グー；机と身体との間は、にぎりこぶし1つ分
- ◆ピタ；足を床にぴたっとつける
- ◆ピン；背筋をぴんと伸ばす



背筋がピンとのび、正しい姿勢をキープするのは、体幹が鍛えられていないとできません。姿勢を持続できると、集中力がUPし、脳を活性化させるなど、学習を行っていく上で姿勢は大切な役割を担っているわけです。

とはいえ、1年生に45分間ずっとよい姿勢を維持させるというのは、難しいことです。ですから、1時間の途中に、気分を切り替える意味も含めて、背伸びをした後背筋をのばす瞬間をつくるなどして、少しずつ耐性（がまんする力）を積み上げ、高学年時には、45分間ずっと維持できるよう鍛えていきたいと考えています。

「こんなことぐらいすぐできるんじゃないの？」と思われる方もいらっしゃると思います。現在の本校の状況は、私が目指す姿にまだまだ程遠い状態です。だからこそ、あきらめず、先生方と一緒に、学びのベースを整えていきたいと考えています。

がんばりタイム始めています

—放課後補充学習—



今年度スタートが遅れていた放課後を使った補充学習「弘道がんばりタイム」を2学期からスタートしています。

がんばりタイムは、火曜日と水曜日の放課後の時間を利用し、3年～6年を対象に算数の補充学習を行うものです。算数はまさしく積み上げ型の教科なので、わからず積み残すと、どんどんわからないが増えていってしまい、ついには、「算数がわからない」、「算数嫌い」という子をつくってしまいます。

そこで、年間20回程度になりますが、「ここ苦手だな」、「ここわかりにくいなあ」と思う箇所を、少しずつ勉強していく中で、「あ、わかった!」「できた!」ということを増やし、少しでも「わかる」「できる」といった気持ちを持たせ、学習に対する意欲を高めていきたいと考えています。

一人一人の状況に応じて、スモールステップで学習を進めていきます。一步一步、地道な取組を継続していきます! 大切なことはあきらめないことです。

【指導いただく先生】

3年; 矢野 睦 先生 4年; 三宅 貴士 先生 5年; 矢野 睦 先生 6年; 高嶋 克己 先生

P. S

1年生、2年生の補充学習は、木曜日の放課後等を使い、行っていますのでご理解をお願いします。

チャレンジ50(フィフティー) 学校表彰を受けました!

年間一人50冊読んだ児童には、豊岡市教育委員会から「チャレンジ50」認定証をいただけることになっています。この認定証をいただいた児童が全校生の半数を超えた学校には、「学校表彰」が授与されます。

本校は、ここ数年は、1月、あるいは2月くらいに表彰していただいていたのですが、今年はなんと3カ月以上も早い時期に達成し、15日に賞状をいただきました。よくがんばりました。これからも進んで本を読もうね!

さて、読書の秋です。家族で本に親しんでみませんか?

【家族で読書する方法】

- ①一人一人まったく違う本を読む(自分の読みたい本を各自で読む)
- ②お父さん、お母さんが子どもに読み聞かせをする
- ③子どもがお父さん、お母さんに読む
- ④1冊の本をみんなで読んで、それについて感想を交流する



6年生がよいモデルに!

子どもたちは集団登校でやってきます。多くの登校班の先頭には6年生が立ち、下級生を安全に連れて来てくれています。この先頭の6年生がどのようなあいさつをするかで、登校班全体の雰囲気が変わってきます。

現在、登校班のあいさつナンバーワンは、川原1班です! 6年生の元気なあいさつが、班全体にいきわたり、見守ってくださっているボランティアの方にも、明るく、元気いっぱいあいさつをしてきています。とても気持ちのよいあいさつです。

こうして、6年生がよいモデルになってくれると、学校はどんどん変わっていきます。これからも6年生のみなんさん、よろしくね!! みんなですてきな弘道小学校を創っていきましょう。

